



御殿場市

外国人ボランティアが参加
 「ルソー・クレマンさん(右)
 ジョニー・クロエさん(左)
 (フランス)」

AS5

私たちは、トレイルランニングを趣味でやっていることもあり、今回ボランティアとして、フランスから参加しました。姉妹大会である「ウルトラトレイル・デュ・モンブラン」でもボランティア経験があります。エイドステーションでは、「御殿場みくりやそば」を選手に手渡したり、選手を笑顔で迎えたり、精一杯のおもてなしをしました。

いつか「ウルトラトレイル・マウントフジ」にランナーとして出場したいです。



小山町

ようこそ静岡県へ
 静岡県最初のエイドステーション「道の駅すばしり」。歓迎の打ち上げ花火が鳴り響く中、トップランナーが駆け込むと、拍手と声援に包まれ、一気に活気づきました。

地元の食材で温まって
 「須走わいわい会
 代表 米山貞夫さん」

地元で20年以上活動している「須走わいわい会」は、選手たちに「きのこ汁」と「甘酒」をふるまいました。

夜は冷え込むので、温かいもので選手を元気づけたかったです。きのこ汁はとても好評でした。また須走に来てくれるのを楽しみにしています。

AS4



富士山の魅力と可能性を未来へ!



富士山ネットワーク会議で選手をおもてなし

「ウルトラトレイル・マウントフジ」の成功の裏には、静岡県側の富士山ネットワーク会議に加盟する4市1町（富士市・裾野市・富士宮市・御殿場市・小山町）の皆さんの活躍が欠かせませんでした。

そこで、選手が休憩するエイドステーション（AS）で行われた、地元特産品の提供をはじめ、さまざまなおもてなしなど、各市町の様子をお伝えします。





ゴールを目指す選手たち



世界的トレイルランナー
UTMF大会実行委員長
かぶらき つよし
鏑木 毅 さん

将来に続く 初めの一步が スタート

「ウルトラトレイル・マウントフジ」は、無事終了し、初めの一步を踏み出すことができました。このような成功をおさめたのは、ボランティアをはじめ、地元の方々のおかげだと思えます。3日間の長時間、厳しい環境の中でしたが、熱い気持ちで大会にかかわっていただいたことを決して忘れません。

大会終了後、現在も多くの方から感謝のメールなどをいただいています。そのことから、本当に多くの人の心に残る素晴らしい大会だったことを痛感しています。

この大会は、単なるランニングイベントではなく、「地域振興」「国際観光」「富士山周辺の自然環境や保全活動」の推進などを目標に掲げて取り組んできました。このことを「肝」に銘じて、私たちは今後この大会がより素晴らしいものになるよう、さらに努力していきます。ぜひ、引き続き皆さんのご支援をよろしくお願ひします。

問い合わせ

スポーツ振興課 ☎55-2722 ☎57-0177



裾野市

そのブランドのコラボで温かいお迎え
最も標高の高かった裾野市のエイドステーションでは、すそのブランドの「すその水ギョーザ」と「すやまうどん」を組み合わせた温かい料理が選手たちに大人気でした。

ボランティアで参加して
「佐藤ツタ子さん」
深夜のエイドステーションで、選手や応援の皆さんに食事を提供しました。

「お疲れさま」「温かくておいしかったよ」選手と言葉を交わすと、私自身もパワーをもらいました。また、過酷なレースを間近で見ることができ、とてもよい経験になりました。次の機会があれば、また協力したいです。

AS6



富士市

温かな「富士山ひらら」で選手をおもてなし
「富士市商工会女性部長 村松千恵子さん」
私たちがつくる、地元特産品「富士山ひらら」は米粉のめんなので、選手のエネルギーになります。さらに今回は、寒い中を走ってくる選手の体が温まるよう、みそ汁風にしました。

寒さで震える手に「富士山ひらら」を受け取った選手は、「ありがとう」「おいしい」と言っていて心から喜んでくれました。私たちは、選手のうれしそうなお顔と一生懸命さを見て、眠気も忘れ、用意した1200食を夜通し提供し続けることができました。

AS7



富士宮市

ボランティアの笑顔でおもてなし
富士宮市では、市内外から集まったたくさんのおもてなしボランティアが活躍しました。富士宮やきそばの提供が好評でした。

ボランティアとして参加した
西富士中学校3年
「石井美優さん、名村瑞樹さん、浅倉茉奈さん」
大会前に大会実行委員長の鏑木さんの講演を聞いてボランティアに参加しようと思いましたが、外国の人が日本語で「やきそばうまいです!」と言っていたり、水を求める人がすごく多かったりしたことが印象的でした。将来出場できたらうれしいです。

AS8